

St.Mepres塾報

2023年12月号

■ 面接練習のお知らせ

日本国内の国公立大学医学部の入学試験で面接を実施しない医学部はただの一つもありません。それほど医学部では面接が重視されています。各大学とも医師にふさわしい人間性をもつ新生を選びたいのは当然のことです。

緊張の中でも冷静さを失わずしっかりとした受け答えができるか、節度ある良好な人間関係を様々なタイプの相手と構築できる素地があるか、規則正しい生活に順応できる自己抑制力があるか、など多角度から医師への適性が評価されることになります。

セントメブレスでは各大学に対応した面接訓練を前野芳正顧問、林哲也顧問、そして学長中野が実施いたします。

面接練習担当：前野芳正先生



藤田医科大学医学部元准教授
現長崎大学医学部客員教授
セント・メブレス顧問
2016年日本熱帯医学会相川正道賞

医学部が求める人物像を熟知し、面接試験官としての経験も豊富な前野芳正先生が、医学部二次試験面接の医療時事問題から立ち居振舞いまで幅広く実践的に指導します。

面接練習担当：林哲也先生



元愛知医科大学医学部事務部長
セント・メブレス顧問

愛知医科大学の面接練習は林哲也先生にお任せください。愛知医科大学に特化した面接練習を行います。

■ 冬期直前強化合宿開催

目前に迫った入試に向けて2泊3日全力で指導します！！ラストスパートです！！（別紙 案内参照）

■ 学長の新刊のご案内

塾生の生徒様に配布しております。
保護者様にもお読みいただくと幸いです。

『秒で読める医学部受験二百物語』上梓に寄せて



伊藤公治郎（元東海中学校高等学校長/愛知享栄学園理事/医歯薬文理進学研究会会長/セントメブレス最高顧問）

多感な青春期に受験を迎える受験生の心は中野俊一氏が言うように万華鏡である。見守る親や教師の心もその万華鏡から無縁というわけにはいかない。受験は受験生の個人の問題であるように見えて実はその周辺の多くの人々に波紋を及ぼしながら織りなされる人間ドラマである。受験勉強の孤独、家族からの期待、模試結果による焦燥、合否への不安などなど万華鏡の世界をつくる要素は多岐にわたりまた時間とともに変化する。学校では常にトップクラスの成績でありクラスからは優等生として崇められ模擬試験も好調となれば順風満帆何の心配もないように見えても、父母や教師や友人などからの期待を受けてのプレッシャーは相当のものと思われる。昨日までは同じ部活動とともに汗をかいた仲でも、いよいよ受験期となれば最も身近なライバルにもなるのである。母は心配そうな顔をして、頑張ってね、を毎日のように繰り返す。父は、やれるだけやれ、とたまに言うだけであとは無口である。受験生は孤独である。受験勉強に閉ざされ心を解きほぐす居場所がなくなりそうである。ましてや浪人生ともなれば現役高校生とは比較にならないほどのプレッシャーがかかる。そのような受験生にも、またその保護者にも、中野氏が繰り出す秒で読める物語は時に応援メッセージとして、時に親子の絆を考えさせるヒントとして、そして時に医学部受験の抱える問題を照らすスポットライトとして役立つのである。

私は受験生にお説教は不必要と考えている。前向きな言葉かけこそが大切である。広く受験生は即効的な言葉が好きである。国公立大文系学部志望者は中学生時代から高校2年生ころまでには多岐にわたるジャンルの読書をこなしていることが多いが、医学部受験生は概して国語的なセンスが欠けている。ほとんど読書してこなかったと言ってよい。出題文を読み要点を掴むことが苦手で全体のまとめも当然不得手で、小論文も思うようには書けない。また面接でも要点を抑えた受け答えができない。こうした状況を克服させようと読書を勧めたり、内容を焦点化できるようにとの思いを54字の表現に込めたのだと察する。実に興味深い本を書いたものだ。